

令和 2 年 8 月 21 日
中国電力株式会社

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第 888 回）
島根原子力発電所 2 号炉に関する指摘内容

<第 5 条：津波による損傷の防止>

（論点 3 「防波壁の構造についての設計方針及び構造成立性」）

〔多重鋼管杭式擁壁〕

- 多重鋼管杭式擁壁の鋼管杭根入れ部の岩盤について、せん断破壊だけでなく引張破壊領域も評価する設計方針であることを説明すること。

〔鋼管杭式逆 T 擁壁〕

- 逆 T 擁壁及び改良地盤の滑動転倒を抑止する役割に対し、グラウンドアンカーの評価が成立する見通しについて説明すること。

〔波返重力擁壁〕

- 既設のケーソンに対して、中詰材を改良する補強方法が成立する見通し、及び中詰材の改良範囲と仕様についての設定方法について具体的な考え方を説明すること。
- 波返重力擁壁のケーソン（輪谷部断面）の構造成立性について、対策案も含めて説明すること。
- ケーソンの設計方針の見直しについて、構造成立性の検討結果を踏まえて、適切な記載に見直すこと。
- 波返重力擁壁のケーソンにおいて、2 次元 FEM 解析結果から 3 次元 FEM モデルへの荷重の具体的な抽出や載荷の考え方について説明すること。また、ケーソン部材と中詰材との拘束条件等について、解析上配慮しているものがあれば説明すること。

以 上